

事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業	事業計画期間	平成27年度～平成31年度																
事業実施地区名 (都道府県名)	(ほくさつ) 北薩森林計画区 (鹿児島県)	事業実施主体	九州森林管理局 北薩森林管理署																
事業の概要・目的	<p>北薩森林計画区は大部分が川内川本流及びその各支流の上流域に、また一部が米ノ津川や高尾野川等の中小河川の上流部に位置し、4市1町に所在する32,053haの国有林を対象としている。</p> <p>森林の現況は、人工林を主体とする育成林が22,825ha、天然林が7,983haとなっており、主な樹種としては、針葉樹でスギ、ヒノキ、広葉樹でカシ、シイなどとなっている。</p> <p>本計画区の森林は、紫尾山、十層国有林等に残存する天然林地帯を中心に、保健休養の場等として多くの人に利用されている。また、森林資源を利用した木材加工業等も地域の重要な産業である。</p> <p>これらを踏まえ、人工林の適切な森林整備等を通じた林産物の供給や地域振興はもとより、国有林の有する水源涵養機能や保健文化機能等の維持増進にも重点を置くとともに森林環境教育の推進に努めていくこととしている。</p> <p>事業の実施に当たっては国土の保全や自然環境の保全、生物多様性の保全等に十分配慮しつつ、森林吸収源対策としての着実な間伐や、主伐とその後の再造林にも積極的に取組み、多様で健全な森林の整備を行っていくこととしている。</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td>・主な事業内容</td> <td>森林整備</td> <td>更新面積</td> <td>952ha</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>保育面積</td> <td>7,908ha</td> </tr> <tr> <td></td> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td>24.8km</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>改良延長</td> <td>7.3km</td> </tr> </table> <p>・総事業費</p> <p style="text-align: right;">2,569,486 (千円)</p>			・主な事業内容	森林整備	更新面積	952ha			保育面積	7,908ha		路網整備	開設延長	24.8km			改良延長	7.3km
・主な事業内容	森林整備	更新面積	952ha																
		保育面積	7,908ha																
	路網整備	開設延長	24.8km																
		改良延長	7.3km																
費用対効果分析	<p>総 便 益 (B)</p> <p style="text-align: right;">20,714,239 (千円)</p> <p>総 費 用 (C)</p> <p style="text-align: right;">3,278,071 (千円)</p> <p>分析結果 (B/C)</p> <p style="text-align: right;">6.32</p>																		
森林管理局事業評価技術検討会の意見	<p>費用対効果分析の結果、森林・林業情勢、地元の意向、事業コスト削減の取組等、事業の公益性を総合的に検討した結果、事業の実施が妥当である。</p>																		
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性：国土の保全や水源の涵養に加え地球温暖化防止、生物多様性の保全等の公益的機能の発揮や、森林環境教育の推進や木材の安定供給が求められている地域であり、事業の必要性が認められる。 ・効率性：費用対効果分析の結果から、事業の効率性が認められる。 ・有効性：国有林の地域別の森林計画に即した事業内容であり、地域の特性を踏まえた計画的な森林整備により、森林の有する機能の発揮が十分図られることから、事業の有効性が認められる。 <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に評価したところ、森林の重視すべき機能に応じた適切な森林整備が効率的に計画されていると認められる。</p>																		

様式1

便 益 集 計 表

(森林整備事業)

事業名：森林環境保全整備

都道府県名：鹿児島

施行箇所：北薩森林計画区

(単位：千円)

大 区 分	中 区 分	評 価 額	備 考
水源涵養便益	洪水防止便益	4,740,817	
	流域貯水便益	1,651,637	
	水質浄化便益	3,837,755	
山地保全便益	土砂流出防止便益	4,637,976	
環境保全便益	炭素固定便益	1,391,152	
木材生産等便益	木材生産等経費縮減便益	492,573	
	木材利用増進便益	83,682	
	木材生産確保・増進便益	2,821,321	
森林整備経費縮減等便益	造林作業経費縮減便益	3,675	
	森林管理等経費縮減便益	12,157	
	森林整備促進便益	1,034,981	
維持管理費縮減便益		6,513	
総 便 益 (B)		20,714,239	
総 費 用 (C)		3,278,071	千円
費用便益比	$B \div C = \frac{20,714,239}{3,278,071} = 6.32$		

平成26年度 林野公共事業評価

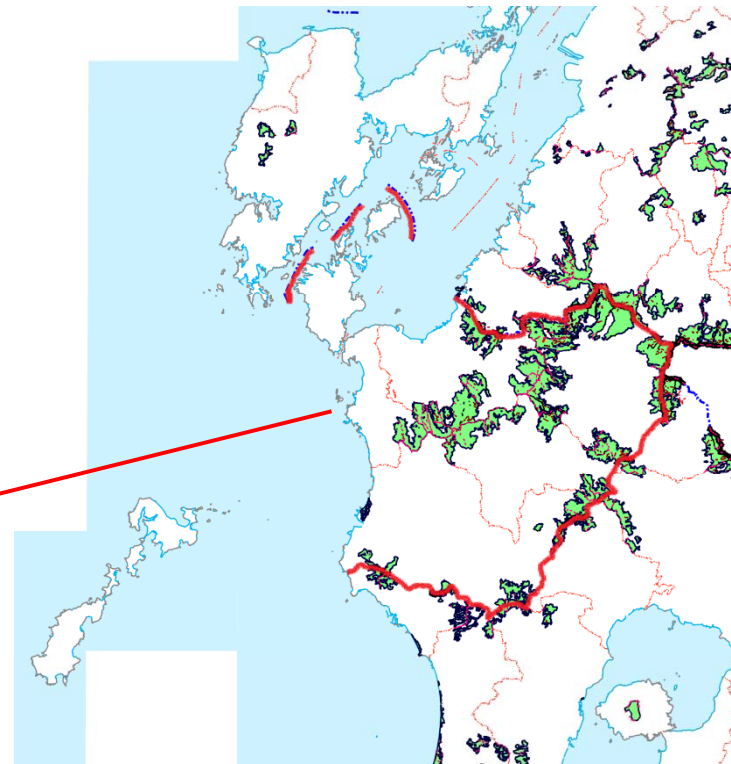
「平成27年度新規採択事業に係る事前評価実施計画区」位置図


(森林環境保全整備事業)



北薩森林計画区

(北薩森林管理署管内)



凡例	
	評価区域

北薩森林計画区

高性能林業機械



路網作設

